





話日値形のしまなと〉ま

プリーンマップはESDの取り組みです

グリーンマップづくりは、地域社会の様々な課題を自らの問題として捉 えながら、 $\hat{\mathbf{g}}$ に $\hat{\mathbf{u}}$ り組むことのできる活動の $\hat{\mathbf{u}}$ つです。グリーンマップ づくりを通じて、地域が抱える課題を知ったり、その解決につながる行動 のきっかけになったりすることは、持続可能な社会を創造するESDの基本 ^{では、かかが} 的な考え方と、まさに同じであるといえるでしょう。

ESDは、Education for Sustainable Development の略です。



『久手市のグリーンマップ

2009年度から2011年度の3年間、毎年2校ずつ、市内の6小学校区 の通学路のグリーンマップ作りを長久手市と愛知淑徳大学が協力し、協 同事業で実施しました。

小学生と大学生とが一緒になってグループに分かれ、小学校区の通学 。 路を歩きながら、街の自然や環境について調べ、グループごとに調べた 地図を合わせ小学校区のグリーンマップを作りました。

2012年度から2014年度は、市の中心部を流れる香流川の流域を調べ ました。さらに、2015年度は長久手市の公共交通「リニモ」を使い駅の 周辺を、2016年度は市役所周辺を探索しました。

(長久手市ホームページから、各グリーンマップをご覧いただけます。)





このグリーンマップを作った仲間たち



長久手市・市が洞小学校周辺グリーンマップ 2017年5月・私たちの街の宝物探し

・ 連営 ・ 変の 対しましゅくとくだいがくきょういくがくぶ こうりゅうぶん か がくぶ こ じま せい 企画・運営 愛知淑徳大学教育学部&交流文化学部 小島ゼミ生

●大澤日奈子 ●先名 央士 ●柴田 惇志 ●山下 ひな ●小松 祐佳 ●立石 愛 ●堀尾 侑加

グリーンマップメーカー 小島 祥美 あい ち しゅくとく だいがく こうりゅうぶん か がくぶ (愛知淑徳大学交流文化学部/ CCC)

**・ リょく あい き しゃくくだいがく 協 力 愛知淑徳大学コミュニティ・コラボレーションセンター

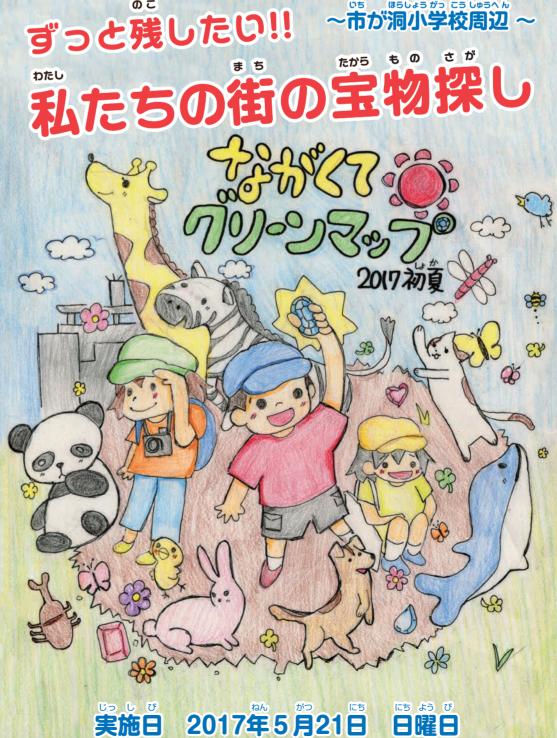
発 行 長久手市 くらし文化部 環境課







このマップは古紙バルブを含む再生紙を使用しています。



「グリーンマップ」ってなあに?

グリーンマップとは、自分たちが暮らす街のや、景色のきれいな場所、 いろいろな生き物に出会える場所などを調べて、アイコン(絵文学)を使っ て環境マップをつくる活動のことです。

グリーンマップは、1992年に ウェンディ・ブラウアーさんに よって提唱され、世界で約50か 国、600以上の地域の人がグリー ンマップ作りに参加しています。







🍟 世界に一つだけのグリーンマップをつくったよ! 💝

2017年5月21日の日曜日、長久手市内に暮らす子どもたちと愛知淑徳 大学の学生が協働で、グリーンマップ作りを行いました。

ひよこ、うさぎ、ねこ、いぬ、しまうま、ぺんぎん、イルカ、パンダ、キリン の9つのグループに分かれて、長久手市内を探検しました。

